

麻しん（はしか）に注意！

☑どんな病気？

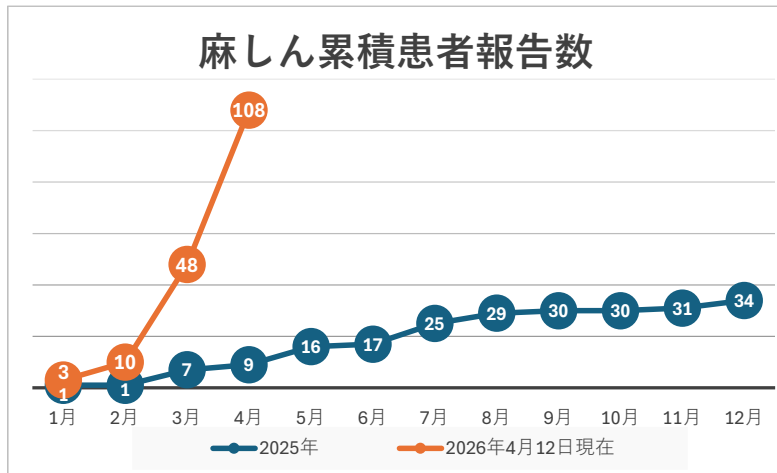
- ・麻しんウイルスによって引き起こされる感染症です。
- ・麻しんは感染力が非常に強く、免疫を持たない人が感染するとほぼ100%発症するため、子供のころに2回の予防接種をすることになっています。
- ・発症直後は風邪のように咳・鼻水などが出ます。その後、高熱と発疹が出現し、肺炎や脳炎等の重篤な合併症を発症することもあります。
- ・潜伏期間（感染してから発症するまでの期間）は約10日、感染可能期間（周囲に感染させる可能性がある期間）は発症前1日～解熱後3日です。
- ・東京都は都民の皆様にも、予防接種が2回未満で罹患歴がない等の場合は、医療機関への相談（抗体検査や予防接種の実施について）を呼びかけています。



※イラストは文章生成AIにより作成

☑どのくらい発生しているの？

- ・近年、東京都の麻しんは2019年に大きな流行がありましたが、昨年はそれに次ぐ34件の発生（集団感染3件）がありました。今年（2025年）は4月12日時点で108件の報告があり、10代から30代の患者が全体の約8割を占めています。



☑麻しんかもしれない、と思ったら

- ・医療機関に電話で相談してから受診してください。
- ・外出はできるだけひかえてください。公共交通機関の利用もひかえていただくよう、ご協力をお願いします。
- ・マスクを着用してください。

☑保健所の調査・検査にご協力ください。

- ・厚生労働省の通知に基づき、麻しんが疑われた場合には、保健所による調査・検査等が行われます。
- ・保健所から連絡がきた場合には、調査・検査・健康観察等にご協力をお願いします。
- ・調査の際にワクチン接種歴、罹患歴を伺いますので、母子手帳など記録されたものをご準備いただくとスムーズです。
- ・ご心配がありましたら、最寄りの保健所までお問い合わせください。

お問い合わせは
お近くの保健所へ

